

大槌町教育委員会だより



こずえ 櫛の梢から けやき

おおつちが目指す「ウェルビーイング」とは

大槌町の教育を推進していく中で、令和5年度は「ウェルビーイング」がキーワードとなっています。大槌町の「ウェルビーイング」とは、「身体・精神・社会との関わりが持続的に良好な状態であること」として捉えています。大槌の子どもたちのウェルビーイングのために、学校はもちろん、他にもさまざまな人たちが関わっています。今回はその取り組みの一部をご紹介します。

子供支援連絡協議会

町のコミュニティー・スクール事業の一環として、夏と冬の長期休みの時期に、子供たちの居場所づくりを協力しています。令和5年度の第1回会議では、夏休みの学習・体験活動について各協力団体や施設の代表の人たちが話し合い、昨年以上にたくさんのアイデアが出されました。各グループで話し合った内容を全体の場で発表しましたが、どのグループも個性豊かで、ワクワクするようなアイデアばかりでした。楽しく、そして学びの多い夏休みを過ごしてもらえるように、各施設で準備をしてくれています。多くの子供たちの参加はもちろん、親子での参加も大歓迎です。ぜひ、地域に出て、さまざまな人と関わることで豊かな経験を積んでほしいと思います。



特別支援教育支援員研修会

『けやき共育』事業の一環として、今年度初めて開催しました。大槌学園と吉里吉里学園に在席する支援員を中心に、町内の幼稚園・保育園・こども園などから参加いただきました。講師に、気仙光陵支援学校の新沼登貴子エリアコーディネーターを招き、前半は演習も含んだ講義、後半はグループに分かれて協議を行いました。普段、子供たちだけでなく、担任の先生を支えている支援員の皆さんから、「学校に来て元気に過ごしてもらえるために、できることをしていきたい」と今後の意気込みが語られました。さまざまな形で、多くの人たちが大槌の子供たちを支えていることを心強く感じられた研修会でした。



ペアレント・トレーニング研修会に参加してみませんか

ペアレント・トレーニング（通称：ペアトレ）とは、子供の行動に注目して好ましい行動をほめることにより、より良い親子関係を築くことを目的とした、行動療法に基づいたプログラムのことです。子育てに悩む保護者を対象（5～6人）に開催します。詳細は、各学園や町内各幼稚園・保育園・こども園などにチラシを配布していますので、ご覧ください。参加を希望する場合は、右記QRコードから申し込むか、教育委員会学務課までご連絡ください。また、教育関係者、子ども支援関係者向けの研修会も実施しますので、お問合せください。



学務課 Tel 0193-42-6100

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校ホームページでも行事の様子を発信しています

3年生の三陸みらい探究の授業の様子をお伝えします！

アカデミックコース

大学や短大進学を希望する生徒19名は、2年生までに探究した内容を、探究的な議論を通してより深めていくことを目的とした活動を行っています。



生徒の感想

このディスカッションを通して、自分とは違う視点からお話を聞くことができたので自分の問いをさらに深めることができました。今回学んだことをこれからにつなげていきたいです。

6月1日(木)の活動では、自分の興味・関心に近い領域の専門家とオンラインで、議論を行いました。7月にも「アカデミックディスカッション」を行う予定です。

キャリアコース



生徒の感想

今回のお話を通して、新しい知識や地元の企業のことについて詳しく聞くことができました。受注単価など普段考えなかったことについて触れることができました。

就職や専門学校進学を希望する生徒38人は、これからの時代に求められる力を探究することを目的として活動しています。6月1日(木)の活動では、自身の志望する職業に関わる社会人に、対面やオンラインでインタビューを行いました。町内外19の事業所にご協力いただき、大槌高校の卒業生を中心とした25人にご参加いただきました。

輝く大高生



大槌高校noteはこちらです！

これまでの集大成となる大会（高校総体）を終えた部活の部長とキャプテン。今回は高校総体特集として、一人一人にインタビューをしていきます。ここには書ききれませんので、本校のnoteに記事を更新していきます。

地域の人、保護者とともにある大槌高校を舞台とした、それぞれの唯一無二のストーリーをご覧ください。

